

# 北九州市の金石文集成（六） 小倉南区その二篇

中村修身

## はじめに

これまでに北九州市内の金石文の紹介を五回（若松区、八幡西区、八幡東区、小倉北区、小倉南区の一部）行ってきた。その続きとして、小倉南区所在の金石文の紹介である。小倉南区は諸般の事情で前回と今回に分けたので、番号は前回を引き継いだ。

物件ごとに、銘の書かれている物件、その現所在地、銘の書かれている部分そして銘の順に記し、各物件の紹介の後にそれぞれに対する雑記を加えた。

多くの資料で判読に難渋したが、今後の歴史研究の一助となればと思ひ史学論叢に発表する場の提供をお願いし、ここに発表するものである。発表の場を与えていただいた別府大学の諸先生、いろいろな情報を提供いただいたみなさん、貴重な御物や文化財を快く触れさせていただいた関係者の方々に深く感謝の意を表したい。

## 小倉南区篇

68 高倉八幡宮鳥居 小倉南区横代南町四丁目3 高倉神社

石柱

奉寄進 氏子中

正面額

高倉八幡宮

左柱

寛政六甲寅年十二月吉日

69 灯塔（一对） 小倉南区中吉田一丁目23 綿都美神社

右塔右面

寛政十戊午

正面

御神燈

左面

十一月吉日

裏面

文蔵

願主

助兵衛

雑記 左灯塔も同じ銘が刻まれている。

70 鳥居残片 小倉南区沼四丁目 沼八幡神社参道横

寛政十一年己未四月吉日 氏子中

71 灯塔（一对） 小倉南区辻三 護聖寺

右塔正面

常夜燈

裏面

三嶽村 若者中

左塔正面

常夜燈

裏面

寛政十一未歳十月吉日

願成訖申歳女

三岳村弥八

雑記 当灯塔は護聖寺境内の豊前坊豊日神社前にある。社殿内には天狗

神（豊日別命）、弘法大師像が祭られている。

72 鳥居残片 小倉南区志井 多賀神社

寛政十二年歳次庚申丁春吉日

是神明学之得交道

73 水盤 小倉南区朽網四丁目 貴船神社

右面

施主 林治兵衛

正面

寛政十二年

奉献

申五月吉日

74 蒲生八幡宮鳥居 小倉南区蒲生三丁目6 蒲生神社

右柱

蒲生之庭 祭神明千秋之霊

氏子中

寛政十二年歳次庚申孟夏之吉

正面額

蒲生八幡宮

左柱

南方村 瓜生利右衛門

南方之原 鎮民庶百歳之魂

75 猿田彦大神 小倉南区中曾根五丁目11・27 四ッ角

享和二年

猿田彦大神

戊二月吉日

雑記 中津道端にある。

76 鳥居 小倉南区蒲生二丁目 於婆宮

右柱

奉寄進

正面額

〔無銘〕

左柱

享和二戌年六月吉日

77 猿田彦大神 小倉南区下曾根二丁目 1 道端

猿田彦大神

雑記 中津道が竹馬川を渡る唐戸橋袂にある。年号は入っていないが、享和ころのものと思われる。唐戸橋袂には他に四体の猿田彦大神がある。

78 猿田彦大神 小倉南区蒲生四丁目 粟山天満宮

右面

享和三癸亥歳三月吉祥

正面

猿田彦大神

雑記 粟山天満宮入口の道端にある。

79 犬甘知寛墓 小倉南区湯川二丁目 6 開善寺

右面

文化元甲子二月廿七日

正面

存誠齋眞巖茂性居士

左面

犬甘兵庫知寛

雑記 犬甘兵庫知寛は長坂守興の次男として生まれ、明和二年家老の犬

甘知徳の養子となり一千二百石を相続。安永六年家老となる。安永九年御勝手方本厄役に就き藩財政の立て直しに力を尽くす。面扶持制を実施や中島、日明、曾根の干拓を行う。享和三年、前年の不作遠因し、失脚。開善寺が小倉北区馬借一丁目 6 から当地へ昭和三十六年移転した折に移設された物件である。

80 鳥居 小倉南区葛原四丁目 3 葛原八幡宮

右柱

奉寄進 喜田村三郎左衛門信陟

正面額

〔無銘〕

左柱

文化三丙寅九月之吉

81 猿田彦太神 小倉南区長尾一丁目 8 祇園社前道端

文化二歳次 講中

猿田彦太神

丑六月善日

雑記 平成二十四年八月上旬以降、道路拡張工事に際して、原位置（旧道の道端）から現位置に移転。

82 猿田彦大神 小倉南区長尾六丁目 八旗神社

文化三寅

猿田彦大神

三月吉日

雑記 桜橋から合馬にいたる旧道の道端にある。

83 龍王社鳥居 小倉南区上石田四丁目8 龍王社

右柱

奉寄進産子中

正面額

龍王社

左柱

文化三丙寅五月吉日

84 鳥居 小倉南区田原三丁目13 天疫神社

正面額

〔無銘〕

左柱

文化三丙寅十一月吉日

85 灯塔（一对） 小倉南区蒲生四丁目 巢山天満宮

右塔右面

卯月吉日

正面

奉寄進

左塔正面

奉寄進

左面

文化四年

雑記 巢山天満宮入口の道端にある。

86 貴船社鳥居 小倉南区朽網東一丁目 貴船神社

右柱

神之攸隆石船倚丘 两村中

正面額

貴船社

左柱

帝子爰嗽瓊液溢流

文化四丁卯仲冬吉 當村石工 喜右衛門

87 猿田彦大神 小倉南区湯川四丁目 水神社

文化四卯

猿田彦大神

十一月吉日

雑記 本来在った場所は不明。

88 猿田彦大神 小倉南区中吉田一丁目23 綿都美神社

正面

猿田彦大神 願主

吉田村百姓中

裏面

文化五年戊辰正月

正屋弥次右工門

89 灯塔 (一对) 小倉南区大字朽網葛谷 御祖神社

右塔正面

奉獻

左面

神官中

裏面

文化五戊辰年

左塔右面

林治兵衛

正面

奉獻

裏面

下久吉祥日

90 水盤 小倉南区田原三丁目 13 天疫神社

文化五辰二月

奉

田原村願主

忠五郎

91 灯塔 (一对) 小倉南区朽網四丁目 貴船神社

右塔正面

奉獻

左面

柳田富麟 葛谷半蔵 筒井貳右衛門

高場紋蔵 長右衛門 [原文人名横一列]

裏面

孟春吉祥日

左塔右面

林吉兵衛 同□郎兵衛 同又右衛門

同藤左衛門 [原文人名横一列]

正面

奉獻

裏面

文化五戊辰年

92 疫神社鳥居 小倉南区下曾根四丁目 24 天疫神社

右柱

奉建立 下曾根邑願主

木戸

木戸新助

正面額

疫神社

左柱

文化六年己巳三月吉日

93 猿田彦大神 小倉南区下貫四丁目7-17 道端

文化六己年

猿田彦大神

三月之吉

左柱  
享紀不武神祿来榛

文化八年<sup>辛</sup>十二月吉日<sup>未</sup>

94 灯塔（一对） 小倉南区下曾根四丁目24 天疫神社

右塔正面

奉獻

左面

下曾根村

願主木戸新助

裏面

九月吉日

左塔正面

奉獻

裏面

文化七庚午年

95 荒神社鳥居 小倉南区中曾根三丁目 浮津島神社

右柱

維時神徳除災救民

三曾根

産中

正面額

荒神社

96 水盤 小倉南区中曾根三丁目 浮津島神社

正面

奉寄進

孟春祥日

左面

願主 寅藏男

97 灯塔（一对） 小倉南区蛭田若園一丁目3 白髭神社

右塔正面

奉獻

左面

當邑 小河庄作

裏面

文化十三子三月日

左塔右面

當邑 小河□□衛門

正面

奉獻

裏面

文化十三子三月日

98 石書經王埴 小倉南区湯川二丁目 6 開善寺

正面

石書經王埴

左面

世第一代□教□□□而旗方便禾眞  
 者□□□也□□□禿井十□□門化  
 □累舌楽深□□□耒□□□□□□  
 □□一序□□□□□□□□□□□□  
 □日盛□□志然□世表□克□□□

裏面

書焉余成恭□通方外夾救不□□夢而  
 領之以禪教勤之朝若石于海□紀筆□  
 于菴中期年就□因建藏于秀山寂光聖  
 場傍塔以供養先亡及萬靈伏願依□□  
 徳力為者福楽壽無窮亡者誰苦庄安養

右面

□□之戊徳深□□□恒河沙数莫  
 □□□沙于□之仰□□□大子□不磨  
 之門□以京伍于□于□也

文化十三星宿丙子季秋日

□花曆寶□木□符以□

雑記 開善寺が小倉北区馬借一丁目 6 から当地へ昭和三十六年移転した  
 折同時に移設された物件である。

99 灯燈（一対） 小倉南区大字貫字平原 松尾神社

右塔正面

心願成就

裏面

文化十三年  
 子十一月吉日

雑記 左塔にも同じ銘がある。

100 狛犬 小倉南区田原三丁目 13 天疫神社

右狛犬台座

當村氏子中

左狛犬台座

文政二年

卯九月吉日

世話人

庄作

雑記 本来の位置から動かされ、一部品しかない。當村は田原村のこと  
 である。

101 白髭社鳥居 小倉南区蟬田若園一丁目 3 白髭神社

右柱

祭我道蟬田之隈九達八達送往迎來

正面額

白髭社

左柱

高鼻赤眼實穰凶災石門新造壽域長開

天明五年建文化三年神門推折文政二年脩造

102 灯塔（一对） 小倉南区田原三丁目13 天疫神社

右塔右面

文政三辰三月十四日

左面

奉献

左塔右面

奉献

正面

田原村 與三良

103 水盤 小倉南区蒲生三丁目6 蒲生神社

右面

文政四年辛巳

九月□□

正面

農□石爲□

清漪□人

爰衆爰祀

錫社維新

左面

□山醫官

畑中分伸正□

104 石階段 小倉南区長野 護念寺

右石柱左面

願主廻國行者

當國曾根觀□

藝芻佐伯郡□兵二

裏面

尾芻□多郡常治

泉芻堺郡守藏

世話人當邑勘治良

左右柱正面

仙兵人代

高山二十四社

裏面

文政六未歳

卯月佛誕日

105 狛犬（一对） 小倉南区上曾根五丁目8 宗像神社

右狛犬台座右面

小倉石工 畑中八十郎藤原好房

正面

奉献 [横書き]

左面

當村

願主又五郎

裏面

文政六年 癸未八月

雑記 左側狛犬台にも同じ銘が刻まれている。

106 灯塔 小倉南区蒲生三丁目 6 蒲生神社

塔右面

豫州松山

醫官

畑中分仲正明

正面

奉獻

左面

文政八年乙酉 夏五月

裏面

文政八年乙酉八月蒙

幕辟班官醫賜俸二十

并麩百芭

雑記 天保四年の灯塔(109)と一対になっている。

107 猿田彦大神 小倉南区呼野 道端

文政十丁亥年

猿田彦大神

雑記 呼野から採銅所に至る江戸期主要道(香春道)傍にある。

108 半鐘 小倉南区新道寺 大應寺

筑後州久留米

寺町大雲山

妙善寺當什

為

高祖大菩薩

五百五十遠忌

文政十<sub>丁</sub>

秋彼岸吉辰

功德住

和田屋和作

和田屋藤八

雑記 第二次世界大戦の際、寺の半鐘を供出した。戦後、それを探したが発見できず当半鐘で落ち着いたとの事である。

109 灯塔 小倉南区蒲生三丁目 6 蒲生神社

塔正面

献燈

左面

庶幾風夜

以永終響

裏面

天保四癸巳年八月

常磐構

上台座左面

長濱屋孫一 嶋屋藤七 重枝屋勘助

中津屋勝兵

中津屋儀助

〔原文人名横一列〕

下台座正面

炭屋利吉 山口屋久蔵

油屋平七

鍛冶屋三郎

米屋甚六

〔原文人名横一列〕

裏面

麴屋嘉六

新屋傳助

米屋儀助

岩田屋平右エ門

相州屋與助

〔原文人名横一列〕

右面

石工喜助

雑記 文政八年の灯塔（106）と一対になっている。

110 灯塔（一対） 小倉南区横代南町四丁目3 高倉神社

右塔正面

奉寄進

左面

上横代村 九郎兵衛

裏面

天保四年癸巳八月吉日

左塔右面

上横代村 良助

正面

奉寄進

裏面

天保四年癸巳八月吉日

111 石柱 小倉南区蛭田若園一丁目3 白髭神社

八知麻多神

天保五甲午四月吉日

氏子建之

112 灯塔 小倉南区貫 莊八幡神社

正面

天保五年甲午八月日

左面

奉寄進

裏面

中貫村 御□

片山小平治

113 やちよ、儀平墓 小倉南区長行 共同墓地

左面

天保六未

二月廿一日

正面

大道無学信士

积妙円信女

左面

俗名 儀平  
やちよ

雑記 儀平、やちよの心中が、能行口説の題材となったと云う。最も小さい墓標に属す。

114 狛犬(一对) 小倉南区蒲生三丁目6 蒲生神社

右狛犬台座右面

御武運長久

正面

奉献

左面

生田助治郎昌村建

天保六歳乙未八月

左狛犬台座左面

国家泰平楽

正面

奉献

右面

生田助治郎昌村建

天保六歳乙未八月

115 猿田彦大神 下石田一丁目 六社神社

右面

天保七酉申年

正面

猿田彦大神 村中

左面

九月吉日

雑記 古い鳥居を再利用している。

116 小宮親恭墓 小倉南区湯川二丁目6 開善寺

右面

天保十癸亥年十二月二十六日

正面

徹心院義道宗源居士

左面

小宮主税助親恭

孝子親懷建焉

雑記 開善寺が小倉北区馬借一丁目6から当地へ昭和三十六年移転した折同時に移設された物件である。

117 灯塔(一对) 小倉南区蒲生三丁目6 蒲生神社

右塔

奉寄進

天保十一年 世話人 帶屋

庚子八月吉日 茂雄

左塔

天保十一年 世話人 □□

庚子八月吉日 □□

118 水盤 小倉南区上石田四丁目8 龍王社境内

天保十二丑十月日

奉獻

當村中

雜記 當村とは石田村のことである。

119 水盤 下石田一丁目 六社神社

右面

天保十二丑年

十一月吉日

正面

奉獻

左面

廣吉長三郎

120 水盤 小倉南区石田 綿津見神社

天保十二丑十二月

奉獻

當村中

121 灯塔残片 小倉南区横代南町四丁目3 高倉神社

右面

天保十四□□正月

正面

奉寄進

左面

丑歳男

122 水盤 小倉南区大字貫二五四番地 芝津神社

天保十五辰二月吉日

上畑 貞七

123 猿田彦大神 小倉南区蒲生二丁目 於婆宮前道傍

正面

猿田彦大神

左面

天保十五申辰年四月日

蒲生中

124 灯塔（一对） 小倉南区横代南町四丁目3 高倉神社

右塔正面

奉獻

左面

天保十五辰三月吉日

裏面

蒲生勘兵衛

左塔右面

天保十五辰三月吉日

正面

奉献

裏面

三村市右エ門

125 小宮親展墓 小倉南区湯川二丁目6 開善寺

右面

弘化二乙巳年十月十四日

正面

天球院遍界不藏居士

左面

俗名 小宮主銘親展

同姓親懷建之

雑記 開善寺が小倉北区馬借一丁目6から当地へ昭和三十六年移転した折に移設された物件である。

126 鳥居 小倉南区葛原四丁目3 葛原八幡宮

右柱

弘化三丙午三月吉日

正面額

〔無銘〕

左柱

願主 小田安兵衛清行

雑記 企画、銘文がまったく同じ鳥居が三門ある。明治三十二年に疫神社、水神社、荒五郎山神社が合祀されている。それにとまなうものか。

127 鳥居 小倉南区葛原四丁目3 天満神社

右柱

弘化三丙午三月吉日

正面額

〔無銘〕

左柱

願主 小田安兵衛清行

128 水盤 小倉南区長尾四丁目 八旗神社

正面

奉寄進

左面

弘化三 壬四月

榎原 勝右衛門

129 灯塔 小倉南区志井 多賀神社

右面

弘化三年四月當村けし□け

吉三郎

正面

奉寄進

130 灯塔 小倉南区志井 多賀神社

右面

弘化三年午五月

正面

奉寄進

左面

當村

桐山九兵衛

131 小宮親展妻墓 小倉南区湯川二丁目6 開善寺

右面

弘化三<sup>丙</sup>午<sup>午</sup>歲六月十六日

正面

清心院安室貞休大姉

左面

小宮主鈴親展妻

雜記 開善寺が小倉北区馬借一丁目6から当地へ昭和三十六年移転した折に移設された物件である。

132 鳥居 小倉南区中吉田一丁目23 綿都美神社

右柱

禱災選裕餘靈影響

弘化四年丁未九月

正面額

〔無銘〕

左柱

爰樹石表孰佛欽仰

氏子中

133 灯塔 小倉南区長尾四丁目 八旗神社

右面

弘化五戊申歲 三月吉日

正面

献燈

裏面

三嶽村 藤治

134 猿田彦大神 小倉南区湯川三丁目 水神社

正面

猿田彦大神

裏面

弘化五申年二月吉日

願主 藤三郎

□三郎

雑記 本来在った場所は不明。

135 白髭社鳥居 小倉南区横代南町四丁目3 高倉神社

右柱

奉寄進 横代中

正面額

白髭社

左柱

弘化五申年二月吉日

136 灯塔(一对) 小倉南区大字貫二五四番地 芝津神社

右塔右面

嘉永二巴酉

四月吉日

正面

献燈

左面

上貫村 □土慶助

左塔右面

嘉永二庚酉

四月吉日

正面

献燈

左面

上貫村 □戸慶助

雑記 左側塔の干支は誤刻である。姓については一字読めない。土と戸は音を尊重すべきか、つまり同一人物か。

137 灯塔(一对) 小倉南区辻三 護聖寺

右面

嘉永三戌年九月吉日

正面

献燈

左面

當村 藤作

雑記 當村は三岳村である。灯塔は一对あり、それぞれに同文が彫られている。当灯塔は護聖寺境内の豊前坊豊日神社前にある。社殿内には豊日別命(天狗神)、弘法大師像が祭られている。

138 狛犬(一对) 小倉南区葛原四丁目3 葛原八幡宮

右狛犬台座正面

奉

左面

嘉永四歳辛亥二月吉日

左狛犬台座右面

願主 原口助右衛門

正面

献

139 祇園祠鳥居 小倉南区長尾一丁目8 祇園社  
右柱

悔非之徳国除水旱之災

世話人庄屋 新兵衛

喜三七

嘉平治

正面額

祇園祠

左柱

斬蛇之威民免疫之忠

安政二年歳次庚申戌季夏之吉

雑記 当地は江戸時代の地名を祇園町と言う。

140 狛犬 小倉南区中吉田一丁目23 綿都美神社  
右面

安政三丙辰歳十月吉日

正面

奉獻

左面

開行角

小倉東鍛冶町

鍛冶屋吉郎兵衛

141 鳥居 小倉南区曾根新田二丁目5 綿都美神社

右柱

寛容不拒太□□光

貞周不□□撰安辛

世話人船木屋新典

正面額

□土祠

左柱

安政三歳次丙辰□三月之吉

下曾根村生川□□

142 灯塔（一对） 小倉南区沼四丁目 沼八幡神社  
右塔正面

献燈

左面

願主 森本爲七

裏面

安政四巳年三月吉日

雑記 左側灯塔にも同じ銘文が刻まれている。

143 狛犬（一对） 小倉南区津田 若宮八幡神社  
右狛犬台座正面

奉

裏面

當村

裏面

正田半右工門

左狛犬台座正面

獻

左面

安政五午九月吉日

小倉石工

畑仲八十郎

裏面

當村

正田半右工門

144 灯塔(一対) 小倉南区蜷田若園一丁目3 白髭神社

右塔正面

奉献

左面

小河原與左衛門

裏面

安政七申二月吉日

左塔右面

小河原彦助

正面

奉献

左面

中尾彦兵衛

裏面

安政七申二月吉日

145 階段 小倉南区呼野 大山祇神社

階段上右柱正面

奉献

階段上左柱右面

安政七申三月吉日

正面

當町 六右工門

雑記 呼野を町と称しており、興味深い。

146 道祖神 小倉南区上曾根三丁目8 道端

正面

金毘羅大権現

林業大権現

裏面

宗瀬左工門

宗儀 助

文久二壬戌願主 宗久 七

美世□吉

末永治郎兵エ

雑記 中津道端に立っている。猿田彦大神、明神社、龍神社と刻まれた石碑とともに祭られている。

147 狛犬（二対） 小倉南区蒲生三丁目6 蒲生神社

右狛犬台座右面

石工 政吉

正面

奉

左面

文久二壬戌春

裏面

東鍛冶町

鍛冶屋 吉郎兵衛

左狛犬台座正面

献

裏面

文久二壬戌春

左面

鍛冶屋 吉郎兵衛

148 狛犬（二対） 小倉南区蒲生三丁目6 蒲生神社

右狛犬台座右面

文久二年戊八月吉日

正面

奉献

雑記 もう一体も同じ銘あり。

149 狛犬（二対） 小倉南区大字貫字平原 松尾神社

右狛犬台座正面

奉

左面

企救郡津田手永

上長野邑

松井五郎納隆

七ツ目成

右面

文久三年

左狛犬台座正面

献

左面

癸亥五月

右面

企救郡津田村手永

上長野邑

松井五郎納隆

七ツ目成

150 松尾社鳥居 小倉南区大字貫字平原 松尾神社

右柱

高□靈境遠長神徳

主祠 藤原正□

願主 下曾根邑

夏六月神吉日 生田孫兵衛金重

石工 朽網邑

藤原定吉宣□

正面額

松尾社

左柱

長臨齋庭久示正直

文久三癸亥年

川□左衛門

山小平 作

山元次

□□□

□□□

良□エ 治中□

151 灯塔 (一対) 小倉南区貫 莊八幡神社

右塔正面

文久三年

左面

奉

右塔台座左面

下貫村

山□□□郎

同村

久□内□衛門

同村

元次□

□□村

中川□右衛門

同村

□左衛門

山田村

甚之□

左塔右面

獻

正面

癸亥二月

左塔台座左面

小平

世話人 元□□

直□

石工上貫村

三代吉

石工朽網村

又吉

152 大池碑 小倉南区下曾根四丁目 24 天疫神社

正面

大池碑〔左文十行の上に横書〕

昔より下曾根ハことに火やけ處にて寛政の頃にかけて三處まで「池作りけれと其かひなく己而一年稻か連れ村皆無にてお保くの「年貢かけたりし事もありしを前農長中村平左衛門柔和里長「良助方頭米藏金藏茂吉をして是の大池をなん作りたりける「天保六年乙未二月晦日より三月廿八日まで□其功なりぬさて此池いてき「より十村はかり長く此水徳を蒙りてかんつのなきハまたく「上の御徳をいたた化ハ也さるに

より下のよろこひたとふ留にものなし是に「よりて其友池尻平三郎善慶とともになく世に其功をのこさ」むと里長島中弥太郎方頭宅次郎彌平次孫次郎村中こと「におりたちてこの碑をたつるなりけ里（ここまで十行。「は改行頭。」）

文久三年癸亥八月廿二日

西田直養撰併書

本久子出せらしぬ□七野□二人

わきて水をつくしぬ□□ほ□しい

沓尾の五郎八といふせかなり

雑記 江戸時代後半の農業振興策を示す貴重な資料である。

153 灯塔（一对） 小倉南区下曾根四丁目24 天疫神社

右塔正面

奉

左面

文久亥九月

左塔右面

當 宅次郎

弥平次

村 孫次郎

正面

獻

左面

石工 辻重之

沓尾

154 中村平左衛門墓 小倉南区津田三丁目 津田共同墓地

正面

中村平左衛門維良墓

裏面

慶應三歳次卯三月廿七日没

雑記 『中村平左衛門日記』や『郡典私志』の著者であり、安政三年に小倉小笠原藩六郡大庄屋上勤を務める。

155 道標 八幡東区東田二丁目4 北九州市立自然史歴史博物館

一面

従是西小倉道

二面

従是北大里道

三面

従是東中津道

四面

従是南田川道

雑記 本来の位置は調査を要するが、当道標の条件を満たす位置としては小倉北区足立周辺の中津道沿いを考えることかできる。

156 神理教内道標 小倉南区徳力五丁目10 神理教境内

一面

従是南田川道

二面

従是北小倉道

三面

従是東中津道

雑記 当道標は元位置から現位置に数十メートル移動されている。

157 石原町里程標 小倉南区新道寺 大應寺(香春道傍)

一面

□是大里迄三里貳拾五町

二面

□是小倉迄貳里貳拾□町

三面

□是呼野迄壹里貳町

雑記 元位置は、内山田治の『小倉藩政時情記』によると高札場の前(香春道傍)という。四個に折れていて一番上は所在不明。

158 呼野里程標 小倉南区大字呼野 呼野公民館の前

一面

従是小倉迄三里貳拾四町

二面

従是大里迄四里貳拾七丁

三面

従是採銅所迄壹里拾四町

雑記 元位置はお糸地藏堂の前と言う。里程標は設置年代が書き込まれていないが、江戸時代後半に起因すると考えるので、収録した。

159 郡境石 小倉南区朽網(荏田町雨窪境)

西面

従是西企救郡

北面

従是東京都郡

雑記 明治後半までは当郡境石の横を小倉から中津にいたる主要道が通っていた。

160 郡境石 小倉南区金辺峠の西側傍。

東面

従是南田川郡

北面

従是北企救郡

雑記 金辺峠は小倉から香春に至る江戸時代の主要道である。大正六年金辺隧道が開通するまで多くの人が利用していた。

161 小宮親懷墓 小倉南区湯川二丁目6 開善寺

右面

明治二己巳年

十二月二十九日

正面

只樂院仁山義鐵居士

左面

俗名小宮民部親懷

雑記 小倉戦争の指揮を執る。慶應二年八月一日、小倉城に火を放ち香春への退去を命じた。明治二年十一月二十九日仲津郡犀川木井馬場の隠居先藤河屋の一室で切腹。開善寺が小倉北区馬借一丁目6から当地へ昭和三十六年移転した折、同時に移設された物件である。

162 禁牌石 小倉南区辻三 護聖寺参道

正面

不許葷酒入山門

裏面

天明三年忌癸卯

三月吉日

功德主

良山 丁仲

密興 田代

儀右衛